

■ 平成22年度



大分大学大学院 教育学研究科（修士課程）案内

- Graduate School of Education (Master Course)
Oita University

大学院「教育学研究科」への招待状

教育学研究科長 大岩 幸太郎

学部を卒業された皆さんは、学部在籍の頃に一度は「大学院（教育学研究科）」とは何を勉強するための所なのかと考えたことがありませんか。この問いに対し、一口で答えることはできません。学部と違い大学院では、修士論文を作成することから、知識を学ぶことだけではなく、知識を使って研究をする所だと思われているのではないのでしょうか。そこで、敢えて申し上げるならば、大学院とは、学部で学んだ「知識」を実際に使い、「道具」に高める研究をする所です。

もう少し具体的に「知識を使って研究する」とは何かを考えてみましょう。例えば、担当科目の内容を教えるための知識を持っているが、生徒を惹き付けるように指導するにはどのようにすることが適切なかが分らないとします。その時、大学院での教科専門に対する深い知識を習得していれば、その知識を分かり易く説明する方法が浮かんできます。また、その方法が客観的であり、さらに、どの生徒にとっても有効であるかも考えることができるようになります。そのことを最近放映されたNHKハイビジョン特集『素数の魔力に囚（とら）われた人々』（2009年11月）の話から説明してみましょう。

素数と言うのは、小学生でも知っている様に、1とその数自身でしか割れない数 = { 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, ... } を指します。その素数の出方の不思議を定式化した“Riemann's zeta function $\zeta(s)$ ”があります。Riemannは、この $\zeta(s)$ 関数を使って“Riemann hypothesis”（リーマン予想）を立てました。そこに至るには、まずEulerが気付いた次の式を見てください。

$$\frac{2^2}{2^2-1} \times \frac{3^2}{3^2-1} \times \frac{5^2}{5^2-1} \times \frac{7^2}{7^2-1} \times \frac{11^2}{11^2-1} \times \dots = \frac{\pi^2}{6}$$

皆さん、この式を見て凄（すご）いと思いませんか。左辺に並んでいる数字は全て素数で、さらにその素数を無限大まで見付けて掛け算していくと、右辺の $\frac{\pi^2}{6}$ （ ≈ 1.644934067 ）の値になります。素数の掛け算から隠れていた円周率 π が見付かりました。良（よ）かったら左辺を実際に計算して下さい。大きい素数見付けて掛け算を増やしていけば右辺の値に近づきます。

Riemannは、このEulerの式を元にして、彼の名前の付いたzeta関数 $\zeta(s)$ を導入しました。

$$\zeta(s) \equiv \frac{2^s}{2^s-1} \times \frac{3^s}{3^s-1} \times \frac{5^s}{5^s-1} \times \frac{7^s}{7^s-1} \times \frac{11^s}{11^s-1} \times \dots$$

この式を見ると直ぐに分かるように、この式はEulerが見付けた式の指数2を一般化して、変数sに置き換えただけです。しかし、Riemannはこの変数sを自然数の集合から複素数の集合に拡張しました。ここで皆さんに知って頂きたいことは、Riemannがこのzeta関数 $\zeta(s)$ を使って、素数の出方の不思議さを数学的な問題に置き換えたことです。この問題が“Riemann hypothesis”と呼ばれ、何人もの優れた天才数学者がその証明に挑戦したにも拘らず、未だに解決されていないそうです。

幼小中高の教育現場には様々な課題・問題がありそれを解決するために、まず必要なことは、課題・問題の定式化です。大学院へ進学した皆さんには、数学者Riemannの様に、課題・問題を解決するための定式化（メタ認知）を習得して頂きたいと思います。

Riemannが素数 { 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, ... } の登場の仕方の不思議を、どんな数学的な問題に置き換えたかは、ご自身で調べてみてください。…。

"And you will find out how beautiful the Riemann hypothesis is."

目次

1	教育学研究科長あいさつ	7	学生の声
2	組織図	8	基本情報
	大分大学アドミッションポリシー		履修制度
3	専攻・専修紹介		取得できる免許状・資格
	学校教育専攻		入試情報
	学校教育コース		奨学金
	臨床心理学コース	10	問い合わせ先
	教科教育専攻		アクセスマップ・建物配置図
	国語教育専修		
	社会科教育専修		
	数学教育専修		
	理科教育専修		
	音楽教育専修		
	美術教育専修		
	保健体育専修		
	技術教育専修		
	家政教育専修		
	英語教育専修		

● 組織図

専 攻		専修・コース（系）		募集人員		備 考
▶ 学校教育		▶（教育学）		3名	6名	学校教育コースには、教育学、教育心理学、幼児教育及び特別支援教育を含みます。
		▶（教育心理学）				
		▶（幼児教育）				
		▶（特別支援教育）				
	▶ 臨床心理学コース	▶（臨床心理学）	3名			
▶ 教科教育	▶ 国語教育専修			33名		
	▶ 社会科教育専修					
	▶ 数学教育専修					
	▶ 理科教育専修					
	▶ 音楽教育専修					
	▶ 美術教育専修					
	▶ 保健体育専修					
	▶ 技術教育専修					
	▶ 家政教育専修					
	▶ 英語教育専修					
合 計				39名		

大分大学大学院教育学研究科 アドミッション・ポリシー

● 基本理念

学部教育で修得した学校教育の基本的知識及び学校教育現場における教師としての経験や知見を土台に、更に学校教育における理論と実践に関する学術分野の総合的な教育・研究を行うことにより、高い研究能力と教育的指導力を備え、実践力豊かな人材を養成するとともに、地域教育の発展に寄与することです。

● 教育の目標

高度な研究能力と教育的指導力を備えた人材を育成するため、学校教育に関する理論的、実践的研究をととして、現代社会がかかえる教育の諸問題に対処しうる判断力と問題解決能力の涵養を図っていきます。

1. 学校教育専攻・学校教育コース

学校教育の幅広い分野に関する専門的な教育ならびに各分野の諸問題についての理論的研究と現実の教育問題を解決するための実践的研究を行っていきます。

2. 学校教育専攻・臨床心理学コース

臨床心理学に関する専門的な教育や実習をととして、様々な臨床心理学的課題やところへの援助についての教育・研究を行っていきます。

3. 教科教育専攻

教科教育ならびにその基礎となる諸科学に関する理論と実践について専門的、系統的な教育・研究を行っていきます。

● 求める学生像

- ・学校教育に対する明確な課題をもち、課題解決のための研究と実践を、知的好奇心と情熱をもって遂行する人
- ・地域がかかえる多様な教育問題に対処するため、高度な教育的指導力を備えた教師をめざしている人

以上の点に加えて、各専攻・コースにおいては次のような人を求めています。

1. 学校教育専攻・学校教育コース

- ・教育学、教育心理学、障害児教育、幼児教育及び情報教育に関する理論的研究や実践的研究をより深く追究したい人

2. 学校教育専攻・臨床心理学コース

- ・臨床心理士の資格取得をめざし、臨床心理学に関する理論的研究や実践的研究をより深く追究したい人

3. 教科教育専攻

- ・教科教育ならびにその基礎となる諸科学の知識、技術、技能等に関する理論的研究や各教科の教育に関する実践的研究をより深く追究したい人

● 入学者選抜の基本方針

学校教育における理論と実践に関する高い研究能力と教育的指導力の養成を目的としているため、学校教育に関する幅広い基礎的知識と明確な目的意識に加え、教育に対する情熱を求めます。また、地域がかかえる教育の諸問題に対処し、地域社会と連携した研究・教育を推進するため、現職教員等を積極的に受け入れます。

この方針のもとに、本研究科では、一般志願者、現職教員等、外国人留学生を対象に、それぞれ異なる方法で選考を行い、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜します。

学校教育専攻

- 学校教育コース
教育学
教育心理学
幼児教育
特別支援教育
- 臨床心理学コース
臨床心理学

学校教育コース

コースの特色

教育に関わる学術的な理論の探求と実践的な指導技術の研究を通じ、幼児・児童・生徒の確かな学びと健やかな育ちを支援できる教員を養成することを目指します。子ども・教師・保護者に対する個別的・心理的な理解、子どもの発達段階と個性を踏まえた授業のデザイン、特別な教育的ニーズに応える具体的な支援方法の開発、最新の教育技術を活かした指導方法の創造、未来へつながる学校を実現する教育制度・社会制度の展望など、多様な観点から教育的課題の学習や研究を深めます。

日々の講義や演習は、これから教師を目指す院生と現職教員などの社会経験を積んだ院生が、理論的実践的研究に携わっている個性豊かな大学教員との生産的な議論を通じ、協同的に知を構築していくことで展開していきます。



主な専門分野

教育学、教育史、教育社会学、学校経営、教育内容・方法論、道徳教育、教育心理学、学習心理学、発達心理学、学校心理学、幼児教育、障害児教育、障害児心理学、障害児生理学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・幼児におけるいざごとの発生と解決過程—3～5歳児を対象とした短期縦断的研究—
- ・児童期における身体的不器用さと自尊心との関係に影響を及ぼす要因
- ・中学生を対象としたストレスマネジメント教育の効果に関する研究—リラクゼーション課題とタテ系動作課題の比較—
- ・特別支援学校における新たな巡回相談体制構築の試み
- ・高等学校における福祉職教育の変遷と役割および将来の展望
- ・北欧4ヶ国における教育制度および教員養成制度の比較考察—教員の質の向上という視点から—
- ・中学校におけるチーム援助の有効性に関する研究
- ・中学校・高等学校における進路指導に関する研究—進路指導担当者を対象とした意識調査を中心にして—

臨床心理学コース

コースの特色

臨床心理学の理論に基づき、心理療法やカウンセリング、心理査定、地域支援に関わる専門的な知識と技術を習得し、臨床の現場で活躍するために必要な実践力を学びます。また、心理的・発達の諸問題の解明や効果的な支援方法、心理的な健康と家族・学校・社会との関係などの研究を通して、心の問題に科学的にアプローチする姿勢も身につけます。

授業や研究だけでなく、研究科附属の心理教育相談室や地域の教育・医療・福祉の現場において、臨床的な支援の実践を学ぶ実習を通じ、実践的な知識と技術を高めていきます。大学院修了後も、特別研究員として、大学教員の指導を受けたり相談室の相談業務にたずさわること、心理臨床家としてのさらなるステップアップを目指すこともできます。

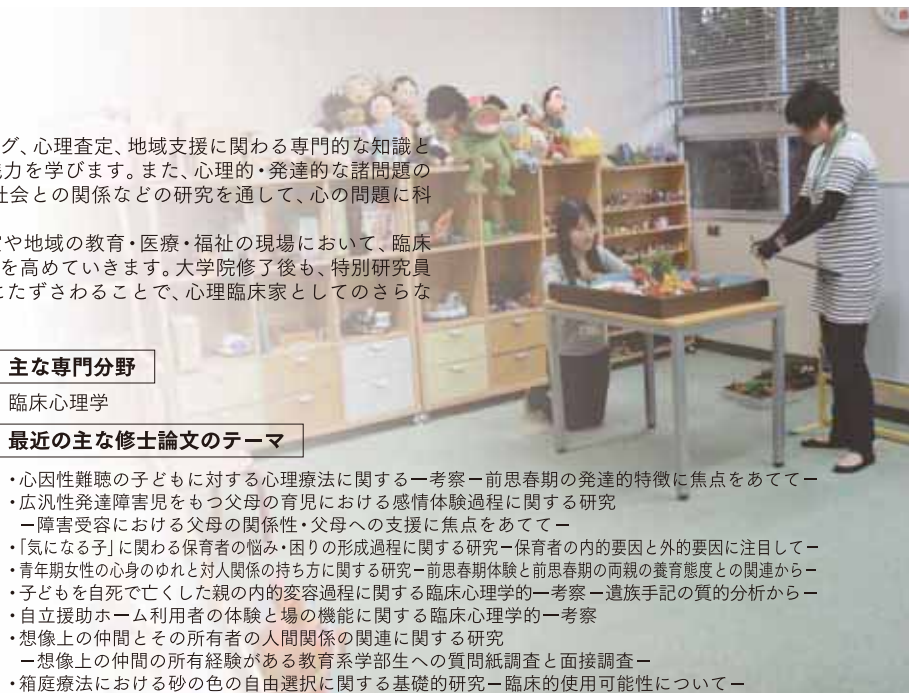


主な専門分野

臨床心理学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・心因性難聴の子どもに対する心理療法に関する一考察—前思春期の発達の特徴に焦点をあてて—
- ・広汎性発達障害児をもつ父母の育児における感情体験過程に関する研究—障害受容における父母の関係性・父母への支援に焦点をあてて—
- ・「気になる子」に関わる保育者の悩み・困りの形成過程に関する研究—保育者の内的要因と外的要因に注目して—
- ・青年期女性の心身のゆれと対人関係の持ち方に関する研究—前思春期体験と前思春期の両親の養育態度との関連から—
- ・子どもを自死で亡くした親の内的変容過程に関する臨床心理学的一考察—遺族手記の質的分析から—
- ・自立援助ホーム利用者の体験と場の機能に関する臨床心理学的一考察
- ・想像上の仲間とその所有者の人間関係の関連に関する研究—想像上の仲間の所有経験がある教育系学部生への質問紙調査と面接調査—
- ・箱庭療法における砂の色の自由選択に関する基礎的研究—臨床の使用可能性について—



教科教育専攻

- 国語教育専修
- 社会科教育専修
- 数学教育専修
- 理科教育専修
- 音楽教育専修
- 美術教育専修
- 保健体育専修
- 技術教育専修
- 家政教育専修
- 英語教育専修

国語教育専修

専修の特色

国語教育専修は、学部教育で習得した基本的知識および学校教育現場における国語教師としての経験や知見を基礎として、国語科教育・国語学・国文学・漢文学などの教科としての国語に関わる各分野の研究を深め、最先端の研究成果を身につけていくことを目指しています。さらに、それを通して、豊かな言語生活や文学への理解を深化させる創造的な授業を開発・実践できる国語教師を養成し、地域教育の発展に資することを目標としています。

国語教育専修の授業は、講義・演習ともに少人数制で、個人指導に近い、細部まで行き届いた教育を受けることが可能です。在学生および修了生は、大分大学国語国文学会に所属し、研究発表をしたり、機関誌『国語の研究』に論文を投稿するなど、研究成果を発表する機会も豊富です。



主な専門分野

国語科教育、国語学、国文学、漢文学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・高等学校国語科における伝え合う力を育てる評価の実践的研究
- ・言語感覚を豊かにする国語科教育のあり方—感性的認識力育成を目指した対話指導の試み—
- ・「シテ形接続」と「連用形接続」について—中・上級日本語学習指導のために—
- ・ことばの「ゆれ」についての研究
- ・『撰集抄』研究—西行像とその後世受容を中心に—
- ・『古今著聞集』の研究—説話性を中心に—
- ・宮沢賢治童話研究—色彩イメージを中心に—
- ・太宰治『お伽草紙』研究
- ・『莊子』研究—『莊子』先行研究における研究—
- ・中国の芸術思想にみる「遊び」—莊子と王羲之を中心に—

社会科教育専修

専修の特色

小学校・中学校の社会科、高校の地理歴史科・公民科などの社会科系科目に関する地理学、歴史学、法学、政治学、社会学、哲学と社会科教育学の教員によって、各専門分野の理論や先端的研究の理解と習得を図るとともに、学校教育における社会科系科目の課題や動向について理解し、より高い教育実践力の養成を目指します。これらを通じて、現代や過去、日本や世界などにおける様々な事象を、多様な視点から考察し、平和的・民主的な国際社会に生きる児童・生徒を育成することができる教員の養成を目指します。

各教員は各々の専門分野について全般的な指導を行うだけでなく、個々の先端的研究を行っていますので、授業以外の場面でも、世界各地や各学界の最新事情を知ることでもあります。



主な専門分野

社会科教育、歴史学、地理学、法学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・豊後幕府領年貢納入制度の研究
- ・大分県における自然災害と防災に関する自然地理学的研究
- ・初期戦争裁判にみるアメリカの政策意図—山下奉文裁判を手がかりに—
- ・高等学校世界史B「世界史への扉」に対応した教材開発への寄与—西欧中世世界の遍歴する人々を題材として—
- ・中学校社会科における歴史授業開発研究—「明治維新」を題材にして—
- ・プレーヤー感覚を育てる選挙教材の開発
- ・持続可能な観光開発—スイス・グリンデルバルトにおける滞在型観光の考察を通して—
- ・小学校社会科地図学習の創造
- ・鍛冶地種痘とアイヌ

数学教育専修

専修の特色

数学教育専修では、代数学、幾何学、解析学及び応用数学（コンピュータ、統計）などの数学についての専門的知識を深めるとともに、数学教育学の理論と実践に関する最新の知見を獲得することにより、数学にかかわる教員としての資質のさらなる向上を目指します。

学部学生あるいは現職教員として数学に携わってきた経験に加えて、数学の専門性のより広遠な追求を通して、数学の美しさや面白さを感じる心を磨きます。また、数学的な見方・考え方を開発し、活用する方法を学ぶことで、数学を通して現実を見る目や問題を解決する能力を養います。そして、児童・生徒が数学のよさや大切さを認識できるような授業及びカリキュラムをデザインし、実践できる専門家を育成します。

主な専門分野

数学科教育、代数学、幾何学、解析学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・解析学とその歴史
- ・活動主義的展開に基づく中学校図形領域の指導過程の研究
- ・問題解決の活動を充実させる高校数学の実践的研究
- ・高校数学における問題解決能力を高める授業の研究～メタ認知能力の強化を通して～
- ・算数教育における数感覚の意味に関する研究
- ・高等学校における数学的活動の充実を図る授業のあり方
- ・中学校数学における関数指導の研究～一次関数における変化の割合を中心として～
- ・数学教育における学ぶ楽しさに関する実証的研究～遠山啓の「学び遊び」に着目して～
- ・合同ゼータ関数と代数曲線の特異点
- ・高等学校における図形領域の学習指導に関する研究～生徒の数学観の変容を中心として～

理科教育専修

専修の特色

小学校、中学校及び高等学校における理科の課題や動向について理解し、より高い教育実践力を備えた教員を養成するために、理科教育学、物理学、化学、生物学、地学の教員によって、各専門分野の理論や先端的な研究の理解と習得を図るための授業を行っています。多くの児童・生徒を理科好きにすることができる魅力ある教員や、地域における理科教育の中核となりうる人材の養成を目指します。学部からの進学者から現職の教員まで、これまでの教育経験に応じて理科教育の実践力の向上を図っていきます。

あわせて、地域の特性や課題を踏まえた理科教育の充実・発展のために、自然科学諸分野の基礎的・総合的な研究を行っています。

主な専門分野

理科教育、物理学、化学、生物学、地学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・大分県における大型ゲンゴロウ類Cybister属3種の個体群の発生消長と動態
- ・太陽観測衛星ひので／可視光望遠鏡を用いた粒状斑の検出及びサイズ・光度分布の研究
- ・シダ植物を使った「紫外線の生物への影響」に関する教材開発とスーパーサイエンスハイスクールにおける教育実践
- ・大分市野津原地区の小規模盆地における局地気象の観測
- ・小・中学校理科における地層の野外観察の支援に関する研究
ー大分市内の小・中学校が利用できる露頭や教材についてー
- ・小学校における地層観察実施上の課題と指導法の提案
- ・サカマキガイ発生過程における平衡胞の免疫組織学的解析
ー平衡胞の形成と中枢神経系分化との関連についてー

音楽教育専修

専修の特色

芸術の深い理解につながるよう十分な音楽的技術、能力を教授し、それを踏まえ、児童、生徒の発達段階と教科の目標に応じた活動を適切に組織し、音楽の理解力、表現力を効果的に指導できる教員を育てることが音楽教育専修の特色です。音楽の研究能力と実践力を兼ね備えた教育者の輩出を目指して取り組んでいます。現代に求められる豊かな教育・研究能力を育む機会を提供して、学部からの進学者や現職教員に、更なる資質向上と学校現場での実践力や応用力のある指導的教員となり得る人材を養成します。

主な専門分野

音楽科教育、声楽、器楽、作曲、音楽学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・ベートーヴェンの後期ピアノソナタの演奏法研究（演奏）
ー《ピアノソナタ第31番 変イ長調作品110》を通してー
- ・山田耕筰の歌曲における歌唱法研究（演奏）ー《A I Y A Nの歌》を中心にー
- ・楽曲作品における＜間＞の研究（作品）
- ・バッハ作品のピアノによる演奏法（演奏）ー《ゴルトベルク変奏曲》における二段鍵盤のための変奏を中心にー
- ・中学校音楽科における合唱活動を活用した読譜能力の育成に関する研究
- ・グラナドスのピアノ曲《演奏会用アレグロ》の研究ーファリャの同名曲との比較を通じてー
- ・セロニアス・モンクのソロ・ピアノによるブルース演奏の研究
- ・授産施設における音楽セッションの考察ー社会性を高める支援を目指してー
- ・子守歌を見直す近年の動きについての考察ー日本における子守唄研究を踏まえてー

美術教育専修

専修の特色

美術教育専修の特色の一つは学生と担当教員の距離の近さにあります。個々の担当教員が作品を制作し、研究する姿に間近で触れて、その楽しさや難しさを肌で感じられることでしょう。そこには「美術とはなにか」「なぜ人は表現するのか」といった本質的な問題がつねに立ち現われています。そのような環境の中で、学生は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術教育、美術理論といった専門分野を学び、美術における現代的な課題への理解を深め、より高度な表現能力と理論の探求をつづけることができます。それは、感性豊かな児童生徒を育成できる教育実践力をもった小学校・中学校の美術科を担当する教員になるうえで、かけがえのない経験となるにちがいありません。



主な専門分野

美術科教育、絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史、工芸

最近の主な修士論文のテーマ

- ・デザイン作品制作「デザインの価値」(作品)
- ・「造形表現を用いたインスタレーション」(作品)
- ・「彫刻作品を用いたインスタレーション」
- ・絵画制作(作品)ー精神の物体化ー
- ・デザイン作品制作「イラストレーション」(作品)
- ・彫刻作品制作「I've」(作品)
- ・彫刻作品制作「ソノツチ」(作品)
- ・陶芸作品制作「食器」(作品)
- ・教師と子どもを交える楽しい図工の授業

保健体育専修

専修の特色

体育学、運動学、学校保健学などの分野について専門的研究を深めます。その成果をもとにして、保健体育科教育の理論と実践とを有機的に結びつけます。さらに健康とスポーツに対して主体的に活動できる児童・生徒を育成する教員養成のための専門的・系統的な研究・教育を行います。

各教員が持つ「人体の構造と機能」、「学校における保健体育教育の理論や方法」、「運動やスポーツに係わる学習指導法」、「社会におけるスポーツの意義や役割の解明」等の専門分野の知識や経験を通して、保健体育教育に関連するさまざまな知識・技術・思想を広く理解し学ぶことができます。さらに、各教員の地域社会との関係から、地域社会における教育問題、健康問題、生涯スポーツ事情等について最新の情報を得ることができます。



主な専門分野

保健体育科教育、体育学、運動学、学校保健

最近の主な修士論文のテーマ

- ・幼児・児童をもつ母親の子育て観に関する研究ー運動遊び教室に関わる親子の事例をもとにー
- ・子どもの遊び活動の研究ー遊びづくりの過程を中心としてー
- ・小学校における体育の専科教員導入に関する研究ー大分県の小学校教員に対する意識調査からー
- ・高等学校卒業後の主体的な運動・スポーツ実施を促進させる学校体育の形成内容に関する実証的研究ー「楽しさ」程度と教師の指導に対する満足感を視野に入れてー
- ・大学運動部活動生の勝利志向性の形成要因に関する研究ー高等学校運動部活動および大学運動部活動の対指導者意識に注目してー
- ・創作ダンス学習時における「みること」「みられること」という経験が学習者にもたらす影響
- ・プロスポーツが有する「公共性」に関する実証的研究ー「成熟期」を迎えつつある大分トリニータと「発展期」にある大分ヒートデビルズとの比較からー
- ・スポーツ記事における物語の「要素」とその変遷に関する一考察ー「金鷲旗高校柔道大会」の紙面解釈をもとにー

技術教育専修

専修の特色

技術科教育、電気工学、機械工学、情報基礎の分野について、各分野の理論や先端的研究の理解と修得を図るとともに、学校教育における技術教育科目の課題や動向について理解し、研究する能力を身につけた、より高い教育実践力を持った教員の養成を目指します。

技術教育専修では理論だけでなく、実技の指導力の育成に力を入れています。

電気工学、機械工学、情報基礎以外にも教員の専門性を生かした、木材加工、金属加工、マルチメディアなどの専門的、実践的な教育も行い、実技の指導力に長けた人材の養成を目指します。



主な専門分野

技術科教育、電気工学、機械工学、情報基礎

最近の主な修士論文のテーマ

- ・小学校第3学年児童の玄能による釘打ちの実態及び釘打ちの指導方法に関する研究
- ・平鉋削りの指導に関する基礎的研究ー平鉋削りにおける身体重心の移動についてー
- ・Linuxネットワークサーバの構築に関する研究
- ・サーチェンエンジンによるインターネットの情報検索に関する研究
- ・平鉋削りにおける最適な鉋刃の突出量の研究ー中学生の平鉋削りにおける鉋刃の突出量についてー
- ・インターネットを利用した遠隔制御教材に関する研究
- ・ソーラーカーの走行性能に関する研究
- ・オイルフィニッシュにおける塗装面の改善に関する研究
- ・Linuxネットワークサーバの運用に関する基礎的研究
- ・「技術・家庭科」の学習指導要領の変遷ー社会的背景から見る変遷ー

家政教育専修

専修の特色

小学校・中学校・高等学校の家庭科に関する専門科目（食物学、被服学、住居学、保育学、生活経営学等）と家庭科教育学の教員によって、各専門分野の理論や先端的研究の理解と習得を図るとともに、学校教育における家庭科の現状と課題について理解し、研究する能力を身につけ、教育実践に活かすことを目指します。生活にかかわる事象を、多様な視点から考察し、とくに喫緊の課題である持続可能なライフスタイルやそれに関する教育のあり方についても理解を深め、家庭科教育を通して、児童・生徒が生涯を見出し、主体的に生きる力を育成することができる教員の養成を目指します。

各教員は各々の専門分野について全般的な指導を行うだけでなく、個々の先端的研究を行っていますので、授業以外の場面でも、専門とする分野のフィールドワークの成果や各学部の最新事情を知ることができます。

主な専門分野

家庭科教育、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営

最近の主な修士論文のテーマ

- ・高等学校家庭科における授業研究～携帯電話の教材化に関する検討～
- ・小学校における消費者教育の教材開発の研究～教科連携の視点からの検討～
- ・高等学校における地域性を生かした食領域の授業実践研究
- ・K Y Tシートを活用した安全な住まい方に関する実践研究
- ・学校教育における食育の実態把握と授業実践の試み
- ・大分県産ハーブの機能性に関する研究
- ・幼稚園から小学校への移行期における学校文化への適応プロセス
- ・ダイエットに関する健康情報番組の問題点

英語教育専修

専修の特色

英語についての深い理解をもとに十分な英語運用能力をもち、児童・生徒の発達段階と教科の目標に応じた活動を適切に組織し、英語の理解力・表現力を効果的に開発できる教員が理想像です。英語教育のプロとしての研究能力と実践力を兼ね備えた教育者の輩出をめざして取り組んでいます。現代に求められる豊かな教育・研究能力を育む機会を提供して、学部からの進学者や現職教員に、さらなる資質向上と学校現場での実践力や応用力のある指導的教員となり得るように指導します。

英語教育の理念や理論と実践の研究をとおして、授業に活かすことのできる新たな教材開発が可能となり、実践の場における体験を踏まえ、さらなるスキルアップを図ることもできます。

主な専門分野

英語科教育、英語学、英文学、米文学

最近の主な修士論文のテーマ

- ・The Role of Interactive Activities in English Language Teaching at High School
- ・A Revelation of Truth through Agonies in *Hamlet*
- ・The Social Milieu in *The Grapes of Wrath*
- ・Enhancing the Production of Spoken English by Japanese Learners of English with Limited Proficiency
- ・The Effectiveness of Supplementary Lessons on Junior High School Students with Oral Reading Difficulties
- ・Comparing the Effects of Vocabulary Learning Strategies on Memory Retention for First Year High School Japanese EFL Learners
- ・The Effect of Planning and Repetition on Japanese Junior High School Students' Speaking Performance
- ・The Effects of Gesture Use in Reading an English Picture Storybook to Japanese Preschoolers
- ・Corpus-based Studies of Speaking Ability in Japanese Learners of English

● 学生の声

学校教育専攻
学校教育コース 教育心理学系 1年

岩本 恵梨

私は、教員としての資質を高めるため、また、卒業論文を発展させた研究を行うために大学院に進学しました。授業では、教育と心理学の両面から現代の学校教育に問題意識をもち、学部よりもさらに深い内容に取り組んでいます。学生だけでなく、現職の教員とも意見を交わすことで生の学校現場の話を知ることができ、新たな気づきや学びがあることも、ここでの魅力の一つだと感じています。

研究では、ストレスマネジメント教育に焦点を当て、小学生を対象とした研究をしたいと考えており、子どもを取り巻く様々な側面から問題を捉え、じっくりと時間をかけて日々励んでいます。

将来教員になった際は、本学で学んだことを十分に生かし、子どもたちの心に目を向けた教育をしていきたいです。

教科教育専攻
英語教育専修 1年

立川 研一（九重町立野上中学校勤務）

英語学習におけるアウトプットの役割について研究し、それを中学校の授業の中で活用していきたいと考え、大学院に入学しました。

心理学や認知言語学、比較言語学など、それぞれ専門分野を極められた先生方の講義はどれも興味深く、充実しています。特に第二言語習得研究やコーパス研究等は、私が大学を卒業した後の20年で大きく発展した分野でもあり、いつも新しい発見や学びの連続です。大量の英語論文を読みこなすことは予想していた以上に大変ですが、その分得るものも多く、改めて「学ぶ喜び」を実感する毎日です。

修了後は、大学院で学んだ様々な理論や教授法を基に、大分の子どもの英語のアウトプット力を大きく伸ばしていきたいと考えています。

基本情報

履修制度

1. 履修基準と修士論文・学位

本研究科においては、表1に従って専攻・専修・コースで開設する授業科目を履修するとともに、修士論文の作成を通じて、教育の理論や実践、専門分野に関する高度な教育研究能力を養います。修士論文は、教育の発展にかかわる基礎的研究をもととした学術論文、あるいは教育実践の向上に寄与する学術論文です。課題研究として2年間にわたって指導教員の指導を受けつつ作成します。

なお、本研究科に2年（標準）以上在学し、授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、大分大学大学院教育学研究科を修了したものと認定され、「修士（教育学）」の学位が授与されます。

● 表1 本研究科において履修すべき単位数

	学校教育専攻	教科教育専攻
学校教育に関する科目及び特別支援教育に関する科目	▶ 選択必修 6単位 ▶ 選択 14単位	▶ 選択 4単位
実践研究に関する科目	—————	▶ 必修 4単位
教科教育に関する科目及び教科内容に関する科目	—————	▶ 選択 12単位
自由科目	▶ 選択 4単位	▶ 選択 4単位
課題研究	▶ 必修 6単位	▶ 必修 6単位
計	30単位	30単位

2. 授業の方法

学年を前学期と後学期に区分し、各学期とも試験期間を含めて15週で行います。授業は1学期（15週）30時間の授業で2単位とします。授業科目としては、各専門分野に関する「特論」と「演習」が、また学校教育に関する「教科」の「教育実践研究」が開設されています。

3. 履修上の特例措置

○長期履修制度

現職教員や有職者、正規の履修期間内で修学が困難な事情がある方のために、長期履修制度を設けています。長期履修制度を利用することによって、標準の就業年限（2年）を越えて、3年や4年をかけて計画的に教育課程を履修し修了することができます。授業料は標準就業年限（2年）に支払うべき授業料の総額となります。

○現職教員等の特例措置

現職教員等は、「1年次フルタイム方式」と「夜間方式」によって履修することができます。「1年次フルタイム方式」は、1年次に在職校等の勤務を離れて通常の時間帯に開講される授業を履修し、2年次は在職校等に勤務しながら、夜間や夏期休業期間等に通学して、修士論文の作成を行います。「夜間方式」は、1・2年次とも原則として夜間（18時10分～19時40分、19時50分～21時20分）や夏期・冬期休業期間中等に開講される授業を履修するものです。

なお、これらの履修上の特例措置は、学校教育専攻・臨床心理学コースには適用されません。

取得できる免許状・資格

1. 教員免許状（専修免許状）（表2参照）

1 種免許状を取得している人は、当該専修免許状に必要な単位を修得して本研究科を修了すれば、専修免許状が取得できます。ただし、入学する専修によっては専修免許状に切り替えられないことがあります。

2 種免許状を取得している人は、本研究科を修了しても専修免許状は取得できません。ただし、当該専修免許状に必要な単位を修得して本研究科を修了後、さらに必要な単位を加えて1 種免許状を取得した場合は、教育委員会に申請して専修免許状を取得することができます。

なお、本研究科では新たな教員免許状の取得はできません。

● 表2 取得できる専修免許状の校種と教科

専 攻		学校教育	教科教育									
専 修			国語教育	社会科教育	数学教育	理科教育	音楽教育	美術教育	保健体育	技術教育	家政教育	英語教育
校 種	▶ 小学校教諭専修免許状	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	▶ 中学校教諭専修免許状	※1	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語
	▶ 高等学校教諭専修免許状	※2	国語	公地 民理 歴史	数学	理科	音楽	美術	保健体育	工業	家庭	英語
	▶ 特別支援学校教諭専修免許状	※3										
	▶ 幼稚園教諭専修免許状	○	○		○		○	○	○			

○は、当該免許状が取得できることを示します。

※1 で取得できる教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語です。

※2 で取得できる教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、工業、家庭、英語です。

※3 は、3 領域（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）です。

2. 臨床心理士の受験資格

学校教育専攻臨床心理学コースは、財団法人日本臨床心理士資格認定協会より第1種大学院の指定を受けています。同コースで所定の単位を修得し、臨床心理学に関する修士論文を提出して修了すれば、臨床心理士の受験資格を得ることができます。

入試情報

入学者の選抜は、学力検査（外国語科目および専門科目）、口述試験及び成績証明書の審査の結果を総合して行います。なお、専門科目は専修によっては実技試験、作品審査、論文審査を含みます。また、現職教員等にあっては、学力検査を免除して、「志願理由書」をもとにした書類審査及び口述試験の結果を総合して選抜を行います。外国人留学生については、一部専修を除いて、外国語の試験を免除して、日本留学試験又は日本語能力試験の結果を使用することができます。

なお、学校教育専攻臨床心理学コースについては、現職教員等の選抜方法は適用されません。入学者選抜の詳細および現職教員等や外国人留学生の出願資格については、『学生募集要項』を参照してください。

奨学金

大分大学には多様な奨学支援制度が用意されています。経済的理由等によって入学料の納付が困難な方に対する「入学料免除」や「入学料徴収猶予」、経済的理由等により授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀な方に対する「授業料免除」制度があります。また、本学独自の制度として、指定銀行から奨学金の貸与を受けた場合に、在学中の利息を本学が負担する「大分大学入学料・授業料奨学融資制度」があります。日本学生支援機構による「日本学生支援機構奨学金」は、毎月一定額の奨学金が貸与されるものです。同奨学金は無利息の第1種と有利息の第2種があり、大学院修了後に定められた方法によって同機構に返済を行います。

問い合わせ先

履修制度や免許状・資格に関して

大分大学教育福祉科学部 学務係

Tel. 097-554-7510

〒870-1192

大分市大字旦野原700番地

ホームページ <http://www.ed.oita-u.ac.jp/001ippann/003daigakuin/index.html>

募集要項や入学試験に関して

大分大学学生支援部 入試課

Tel. 097-554-6701

〒870-1192

大分市大字旦野原700番地

ホームページ <http://www.oita-u.ac.jp/menu/m06nyushi.html>

アクセスマップ・建物配置図



交通機関

JR豊肥本線利用 大分駅 (約13分) 大分大学前駅 (約5分) 大分大学

大分バス利用 「大分駅前」または「トキハデパート前のりば」から
■「大南団地」・「高江ニュータウン」行き (約40分) 「大分大学正門」または「大分大学(構内)」下車
■「戸次」「臼杵」「竹田」「佐伯」行き (約40分) 「大分大学入口」下車 (約10分) 大分大学

車利用 大分駅から国道10号線を宮崎方面へ約10km



発行 大分大学教育福祉科学部 総務係
tel.097-554-7504
e-mail kyosomu@ad.oita-u.ac.jp
ホームページ <http://www.ed.oita-u.ac.jp/>

平成22年2月発行